

文化財看板作成のポイント集

(1) 目的を決める

① 誰に伝えたいのか

子ども向けなら、文章は短く、漢字は簡単に

観光客向けなら、地名や人名に注意が必要

地元の人向けなら、地元の祭りや年中行事と関連させて

※相手によって看板の内容は千差万別。見る人の気持ちになって想像しましょう。

② 何を伝えたいのか

設置する文化財の本当の「価値」＝伝えたい内容とは何か、を考えましょう。

建物なら・・・ 時代（古さ）？ 形（意匠）？ 由来（建てた人やエピソード）？

③ どのように伝えたい/使いたいのか

親しみやすい文章とするのか、威厳を持たせるか。

看板だけで独立させるのか、ガイドマップと合わせて使うのか。

(2) レイアウトを決める

① 看板に載せたい情報を整理し、優先順位を付けます。

② 人は大きいものから順に看板を見ます。優先順位に沿って、レイアウトしましょう。

③ 一枚の看板に使うフォントや色、文体のルールは統一しましょう。フォントと色は、ユニバーサルデザイン（UD）対応のものが推奨されます。

④ 裏面に、ワークショップを通して作成したデザインサンプルを掲載しています。この内容を参考に、文化財や設置場所に応じてアレンジしてください。

(3) 試作して、現地で広げる

① 画面ではよく見えても、実際に作ったらイマイチということはよくあります。

② 看板の案をできるだけ実物に近い大きさにプリントして、現地で広げてみましょう。
(印刷業者さんをお願いするほか、コンビニでも大きいサイズのプリントができます)

(4) 設置する

① 看板を見るとき立ち位置を意識して、設置する場所や向きを決めましょう。



写真

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

文化財名



令和6年〇月
犬山市教育委員会

